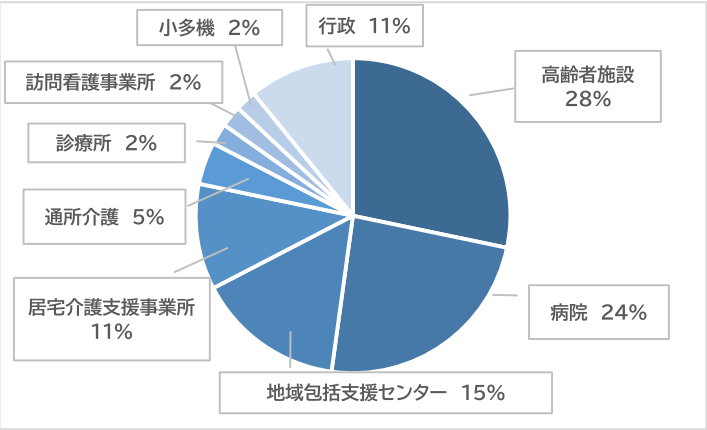
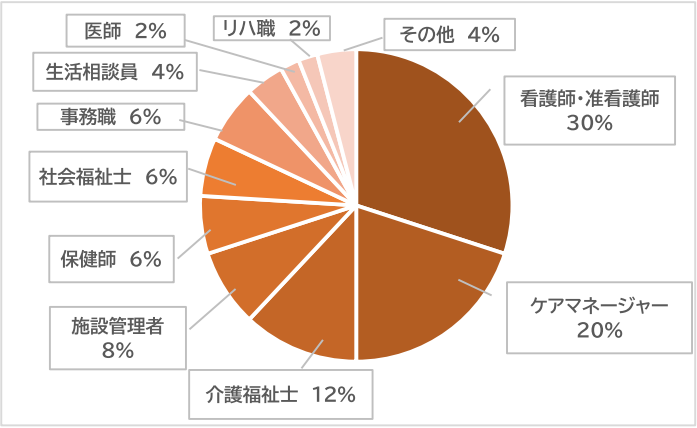
令和7年度第2回石巻・登米圏域在宅医療・介護連携推進研修会

【日時】令和8年2月27日(金)午後6時30分から午後8時まで
【場所】宮城県石巻合同庁舎　大会議室
【対象】管内の医療及び介護関係職員、市町担当課職員

●所属（出席者50人中、46人回答）



●職種（複数回答あり）



●内容

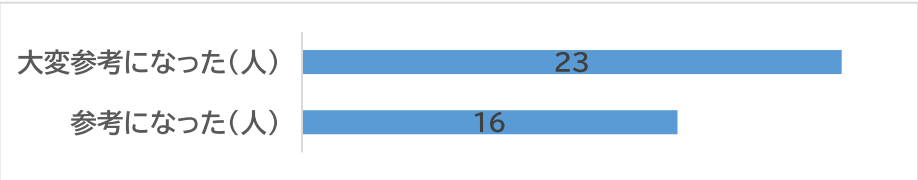
「“ACP”なんとなく知っているを卒業しよう～実践編～」
講師：公益社団法人地域医療振興協会　君津市国保小櫃診療所　所長　望月　崇紘　医師
(1)講演

・ACP とは代理決定者がイタコになるための準備をするプロセス。もしものときに ACP を活かして意思決定支援を行う必要がある。
・ACP は後の判断を支える材料探しであり、結論を出す必要はない。本人が何を大切にしてきたかを聞き取り、意思決定の場面で本人の推定意思を引き出すことが大切。

(2)ロールプレイ

・2人1組となり支援者役、本人・家族役を交互に体験しました。
・ロールプレイで具体的な場面のイメージが深まりました。

●アンケート結果（N＝46）



参考になったという回答が多く
学びの多い研修となりました

●感想

・働いている中で「少しもやっとする」家族の決定も見てきたため、本人の意思をより希望に近い位置で家族に伝えられればと考えられました。
・本人の意思を尊重しながらケアを進めていく上でのピース集めが大事だと改めて感じた。代理決定者は、その人の「イタコ」になるための準備をするプロセスという言葉がとても意思決定支援において大切なんだと感じた。
・実際に現場でACPが必要なタイミングだったので大変学びになった。

発行元：宮城県東部保健福祉事務所　高齢者支援班　2026/3/3